

## 教育委員会事務の点検および評価の実施について

### 1 趣旨

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条に基づき、教育委員会事務の点検・評価を行い、その結果に関する報告書を公表します。

### 2 点検・評価の方法

草津市教育振興基本計画(第3期)の9つの基本項目について、教育委員会事務局にて内部点検・評価を行った後、外部評価委員会を開催し、学識経験を有する方などの意見、助言をいただきました。

#### 草津市教育委員会事務外部評価委員会(令和7年9月26日開催)

渡邊 暁彦 (滋賀大学教授)

藤野 利也 (元公立小中学校長)

吉竹 さとみ (公募市民)

### 3 点検・評価の結果

#### 成果指標の目標達成度について

9つの基本項目ごとに設定している成果指標(全18項目)の目標達成度の状況

目標達成度	項目数(R6)	割合(R6)
100%以上	7	38.9%
75%以上 100%未満	8	44.4%
50%以上 75%未満	1	5.6%
50%未満	0	0%
その他 (代替指標のため目標値なし) (休館のため入館者数比較できず)	2	11.1%
計	18	

#### 主要事業について

9つの基本項目に紐づく主要事業に対する成果達成度(自己評価)の状況

事業に対する達成度 (自己評価)	主要事業数	割合
「◎」期待を超える成果であった	0	0%
「○」期待どおりの成果であった	57	100%
「△」期待未満の成果であった	0	0%
計	57	

## 4 外部評価委員会での意見

### 総評

- たくさんの方が、こどもを始め様々な方々のために、多くの事業に取り組みられていることを高く評価している。引き続き、様々な事業に取り組んでいただきたい。
- 第4期教育振興基本計画の策定も終わり、現在は、それに基づき事業を進められていると聞いている。成果指標に一喜一憂する必要はないが、計画期間の途中で成果指標が変わる時には、本当に合致している内容なのかどうかを再度検討、確認いただきたい。
- 市で取り組んでおられる様々な事業は、一つひとつがこどもの豊かな学びにつながるものであり、多くの市民の方々にも知っていただきたい。多くの皆様の共通理解をふまえながら、あるべき教育の姿や問題解決に向けて議論を行っていただきたい。また、外部評価については、毎年同じ手法を踏襲するのではなく、今年は、昨年の委員の指摘が反映されたところが見受けられた。外部評価の結果を次年度の取組に活かしていただけて喜んでいる。今後も引き続き、より良い事業活動に向けて取組をお願いしたい。

## 基本項目1. 豊かな心と健やかな体の育成

### ■外部評価委員会での主な意見

- 「自分によいところがあると思う」と答えた児童生徒の割合が増加傾向にある。担任や周りの先生方、こども同士の関わりの中でそう思える環境ができてきていると思うし、結果を分析もされているので、さらに増加するような取組を今後も進めてほしい。
- 「運動やスポーツをすることが好き」と答えた児童生徒の割合が小学5年生から中学2年生になると大きく減少している。この落ち込みを少しでも少なくできるような方策や取組を進めてほしい。
- 「スクールESDくさつ」の取組については、こどもが身近な地域や他者と繋がる貴重な機会であり、そうした取組を通して、自己肯定感にもつながると思うので、引き続き積極的に取り組んでほしい。
- 「草津市いじめ問題対策連絡協議会」の開催やいじめ問題での様々な対策はありがたいと思う。一方で、現場の先生方が多忙で、こどもへの対応が行き届かないところがあるので、ボランティアや教員等の人の配置を検討いただけるとありがたい。
- 部活動指導員や支援員については、指導や支援する立場の方自身も自己有用感が高まると思う。もっと増やしていけるように取り組んでほしい。
- 部活動指導員や支援員に対しては、学校教育における部活動の意義も含めて、活動に御理解いただけるよう周知徹底をしていただきたい。
- 「中学生のチャレンジウィーク事業」で、様々な職場を体験できることは生徒にとって貴重な機会だと思うので、継続的に展開してほしい。

## 基本項目2. 確かな学力の育成

### ■外部評価委員会での主な意見

- 「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考え方を深めたり、広げたりすることができている」と答えた児童生徒の割合が大きく伸びている。こども同士の話し合いや自分の考えを深め、表現して友達に伝えて広げていく授業形態が身につけてきている成果だと思うので、この取組を継続してほしい。
- 読書活動については、小学生は本を読んでいる子がたくさんいるが、中学生はなかなか時間がとれていないように感じている。読書の時間を創っていただいていることはありがたい。
- 学校司書の勤務日数を増やしたり、読書ポイントカード事業を展開したりしているが、「読書が好き」という児童生徒が増加するような方策に、引き続き取り組んでほしい。また、読書時間が、10分でも確保できるように、学校の中や家庭での啓発等に取り組んでほしい。
- 午前5時間制が導入されるが、引き続き児童生徒が朝の時間などに本に接する機会を広く提供いただきたい。
- 「学校ICT推進事業」については、担任の先生とICTの先生に連携をもっととっていただき、より楽しく、よりよい授業になるように取り組んでいただきたい。
- ICTの効果的な活用に関わって、授業改善のためのプラットフォームでの情報共有等は、教員相互に学び合える有意義な取組だと思うので、広げていってほしい。

### 基本項目3. 教職員の指導力の向上

#### ■外部評価委員会での主な意見

・教員の長時間労働が問題となっているが、時間的余裕を持ちながら、教材研究を行ったりすることは大切である。校長先生をはじめ、経験豊かな先生方が、経験の浅い若手の先生方へのアドバイスや声掛け等を行い、適度なワーク・ライフ・バランスを維持していただきたい。

・教員の研修については、引き続き多様な講座の開設を行っていただくとともに、教員による自主的な研修の機会を提供いただきたい。

・学校現場では、教職員の長時間勤務が続いているが、教職員それぞれが、やりたいと思った研修ができるように、また、働き方改革において、午前5時間制も含めて、実際に進めていく中でよいところと改善していった方がよいところを上手く整理して、少しでも教職員が自己研修に取り組める時間の確保に努めていただきたい。

・「講座開設事業」では、参加者の満足度が高く、先生方のニーズを把握しながら開設されていることを評価したい。

・「スキルアップアドバイザー配置事業」は、経験が浅かったり、他市から異動してこられた教員を対象に、草津市の教育の特徴をお伝えするために取り組んでおられ、素晴らしいことだと思うので、引き続き取り組んでいただきたい。

### 基本項目4. 学校経営の充実

#### ■外部評価委員会での主な意見

・学校不適応や不登校などの教育課題に、中学校だけではなく、小学校でも学校組織として対応していかないといけないという意識ができてきた。生徒指導主事を中心に、弁護士をはじめ、様々な立場の方々に協力いただき、収束できるよう引き続き対応いただくとともに、よりよい対応の仕方があれば、アピールしていただきたい。

・不登校に関しても、大変だとは思いますが、様々な課題の解決のため、引き続き取り組んでほしい。

・「スクール・サポート・スタッフ」や「教室アシスタント」の配置をより一層推進いただくとともに、こどもや教職員等に対して理解のある適切な人員確保に努めてほしい。

・「学校問題サポートチーム運営事業」で、事例集をまとめることは各学校において参考になると思うので、ぜひ続けてほしい。また、今年度より、新たに学校問題解決支援コーディネーターを配置されると聞いているが、引き続き教職員の負担軽減とともに学校経営の充実を進めていただきたい。

・教員は授業を進めていかないといけないが、問題行動の未然防止、早期発見・早期解消に向け、引き続き取り組んでほしい。

・外国人児童生徒への教育支援は、本人が、少しでも安心して学校にいられ、自分のことが伝えられる、あるいは友達は何を言っているのかを理解できる環境設定をお願いしたい。

### 基本項目5. 教育環境の充実

#### ■外部評価委員会での主な意見

・学校行事や部活動、スポ少などでも活用でき、熱中症対策にもなる市内の全小中学校の体育館への空調整備は評価したい。

・児童生徒が学校で安全に安心して学ぶため、引き続き必要な学校施設の整備に計画的かつ継続的に取り組んでいただきたい。

・定期的な施設点検の実施や、各学校に対して実施体制や点検マニュアルの見直しなど、適切に御指導いただきたい。可能であればマニュアルの見直しに児童生徒が関わってみてもよいと思う。

### 基本項目6. 家庭・地域での学びの充実

#### ■外部評価委員会での主な意見

・「地域協働合校」での取組に期待している。引き続き多様な取組を実施いただくとともに、認識されていない方も少なくないように思うので、広く外部への発信にも努めていただきたい。

・登下校中の事故が減少傾向にあることだが、事故を無くすべく、引き続き、交通安全対策の取組を進めていただきたい。学校だけではなく、家庭での注意喚起の働きかけも大切だと思うので、保護者の方々への周知等も併せてお願いしたい。

・家庭での教育力向上のため、家庭教育応援ナビの取組に期待している。より積極的な情報発信をお願いしたい。

・シグフィーで様々な講座が実施されていることを拝見している。引き続き発信いただきたい。

・小学校の午前5時間制の40分授業だが、あつという間だと感じる。中学校は50分授業なので、こどもが戸惑わないように、上手く繋げていけるようにしていただきたい。

## 基本項目7. 生涯学習・スポーツの充実

### ■外部評価委員会での主な意見

- ・公園や公共施設の利用ルールの見直しやルールの徹底などを通して、誰もが利用しやすい環境を整えていただきたい。その際には、施設を利用することもたちの意見を聴いてもよいと思う。
- ・「図書館利用者の満足度」について、移動図書館も含めて利用したくても利用が困難な方にも配慮して、誰もが利用しやすいような環境の整備をお願いしたい。
- ・「図書館利用者の満足度」の高さに感心している。満足されていない方々の求めていることが把握できれば更なる飛躍ができるのではと期待している。
- ・「社会体育施設利用者の満足度」では、貸館の手続きでオンラインが利用できないため評価が低いとのことであったが、オンライン予約システムの導入も予定しているとのことなので、数値の上昇に期待している。
- ・「ゆうゆうびとバンク」には、多くの団体と多様な内容が掲載されていることに感心している。登録された団体の活動が活きるように引き続き取り組んでいただきたい。
- ・「学校体育施設開放推進事業」では、子ども優先枠をつくっていただき、大変ありがたく、今後も続けてほしい。
- ・国スポ・障スポ開催に伴い、関連する施設整備が行われ、これを機に、自分も新たにスポーツを始めようという方も多いのではないかと思うので、こうした機運の高まりを通して、スポーツの振興等に努めていただきたい。
- ・国スポ・障スポ開催のための様々な環境整備や取組をされてきた。開催後にどれだけ維持していけるのかを期待したい。

## 基本項目8. 文化・芸術の振興

### ■外部評価委員会での主な意見

- ・多くの市民の方々に、文化芸術に親しむ機会を提供いただくために、引き続き予算確保に努めていただきたい。
- ・「文化・芸術の振興が図れていると思う市民の割合」が上昇傾向にあり、地道な取組が成果に繋がっていると思っている。
- ・「市美術展覧会開催事業」では、イラスト部門の創設は、手軽に始められると思うので、そこに目をつけられたことに感心した。
- ・「市民文化芸術活動支援事業」では参加した子どもたちが、学んだことを学校に持ち帰り、周りの子どもにも与える影響も大きいので引き続き継続いただきたい。また、本物の文化・芸術活動に触れる機会があれば、自分なりの表現に取り組めると思うので、そのような場があればありがたい。
- ・「草津キッズシネマ塾」の取組など、子どもにとっては、本人の体験だけでなく、様々な年代の方々との交流にもつながることから、そこで得られるものは大きいと思う。市民としても、そうした活動にもっと気軽に接する機会があればありがたい。
- ・「文化ホール管理運営事業」において、SNSなどによる発信・交流の促進のため、無料で利用できるWi-Fi環境の整備充実に取り組んでほしい。

## 基本項目9. 文化財の保存と活用

### ■外部評価委員会での主な意見

- ・地域の歴史を知ることができる資料の保存と活用はとても大切な取組である。こうした資料をどのように活用していくか、教材研究と併せて、その成果を教員研修などで伝えていただくことも教育委員会の事業として有益ではないか。
- ・東海道を歩く人たちのための地図の作成については、市町の歴史に触れることができ、更なる興味を持たれる方もいらっしゃると思うので、完成に向けて取り組んでいただきたい。
- ・一般的な展示だけではなく、例えば展示に向けた準備や作業風景といった裏方の様子も配信などすると、より一層、地域の文化財に親しみが持てるのかもしれない。
- ・史跡草津宿本陣の耐震工事による閉館中に力を注がれた、ホームページ等を利用された情報発信については、工事は終了されたが、引き続き積極的に発信していただきたい。

## 5 今後のスケジュール

- 1月22日(木) 定例教育委員会 報告
- 1月下旬 議会報告
- 2月上旬 公表(ホームページ、記者提供)